

# まむり

## 「將軍オムリ」

「オムリは主の目に悪とされることを行い、彼以前の誰よりも悪を行った。

(列王記上 第16章25節・旧約聖書546頁)

はじめに

列王記には南北王国の王の業績と共に信仰が「ダビデの道」「ヤロブアムの道」かで評価されています。先回、悪王の代名詞となったヤロブアム王をとりあげ、なぜ彼が道を外したかを見ました。彼は能力はありましたが、それが罫となりました。オムリは、王国の歴史の中で最も悪影響を与えたアハブ家の祖です。彼は力を頼みとしました。「知恵ある者は知恵を誇るな。力ある者は力を誇るな。富める者は富を誇るな。誇る者はただこのことを誇れ。悟りを得て、私を知ることを」(エレミヤ9:22～23)。そのことを確認したいと思います。

北王国の混乱

南王国は最後までダビデの子孫が王となる「ダビデ王朝」でしたが、北王国は繰り返し起こる謀反によりしばしば血筋が途絶えました。ヤロブアムの子ナダブが王になった2年目、バシャの謀反で、ナダブが倒れます。ところがバシャの子エラが後継王になると、戦車隊分隊長のジムリがクーデターを起こし、エラを殺して王座を奪う、しかし、その7日後、將軍だったオムリがすかさず蜂起、ジムリを自害に追い込み、対抗勢力も押さえきって王となります。軍を掌握していたことで、得た地位でした。ただ、それぞれの王が「ヤロブアムの道」を歩み続けた結果、北王国の民たちは神への信仰をまったく失い、混迷の度合いを増していきました。

オムリとは

オムリの出生が記されていないため、家族の

後ろ盾なく、実力のみで將軍まで上り詰めた人物だったのでしょう。つまり彼は「武力」をより所としていました。勢力が2つに分かれた際、彼への支持が多かったのも「力」であり、その後の北王国の拠点となったサマリアを造ったのも、軍事的な戦略からで、偶像礼拝は人心をまとめるために続けられていきました。そして、なんと言っても、その後に王となったアハブ、アハズヤ、ヨラム、そしてアタルヤなどの子孫が神の王国を汚し続けるのです。エリヤはカルメル山での戦いでアハブに「主の戒めを捨て、バアルに従っているあなたとあなたの父の家」(列王上18:18)と指摘し、ミカは北王国に対し、「あなたはオムリの掟とアハブの家の業」を続け、国を荒廃させた(ミカ6:16)と告げています。オムリの罪

今ある生活は、また地位は、自分が得た者ではありません。オムリは自分の力のみを頼り、神の存在を無視したことで、自分のみならず、子を通して悪影響を及ぼしたのです。

ミカはアハブの罪を指摘する時にこういっています。「人よ、何が善であるのか。そして、主は何をあなたに求めておられるか。それは公正を行い、慈しみを愛し、へりくだって、あなたの神と共に歩むことである」(ミカ6:8)。神は高ぶる者をしりぞけ、力を捨て、へりくだる者に恵みを与えられることを忘れてはなりません。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】  
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



## 今週の祈り

「オムリは主の目に悪とされることを行い、彼以前の誰よりも悪を行った。彼は、ネバトの子ヤロブアムのすべての道を歩み、イスラエルに罪を犯させたヤロブアムの罪を繰り返し、空しい偶像によって、イスラエルの神、主を怒らせた。」(列王記上 16:25 ~ 26)

「人よ、何が善であるのか。そして、主は何をあなたに求めておられるか。それは公正を行い、慈しみを愛し、へりくだって、あなたの神と共に歩むことである。…あなたはオムリの掟とアハブの家の業をすべて守り、そのもくろみに従って



歩んだ。そのため、私はあなたを荒れるに任せ、その住民を嘲りの的とした。あなたがたはわが民の恥辱を負わなければならない。」(ミカ書 6:8、16)

オムリは自分の力で自らの地位を得たことで、神を崇める心を持っていませんでした。そのことで、彼はその罪に溺れ、またその家族もまた悪に染まり、祝福を失っていききました。人が高ぶることがどんなに恐ろしいことであるかを知りました。

どうぞ、私にへりくだって神を信じる姿勢を与えてください。御名によってお祈りいたします。アーメン。

## 深読みにチャレンジ!

### 箴言 (66) 第3章28節

\*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「あなたにその力があるなら、友に『出直してくれ、明日あげるから』と言うな。」

◎口語訳 「あなたが物を持っている時、その隣りに向かい、『去って、また来なさい。あす、それをあげよう』と言ってはならない。」

◎新改訳 「あなたに財産があるとき、あなたの隣りに向かい、『去って、また来なさい。あす、あげよう』と言うな。」

### 「出し惜しみ」

父親がよりよい人間関係を築き上げるための知恵を授けようとしている箇所です。

最初の教えは「自分にしてもらいたいことは、率先して相手にしてあげること」でしたが、次に言われているのは、自分に余裕があるならば、人に対して施すことも惜しんではならないという勧めです。

ただ、いろいろな場面が考えられます。例えば相手が返済能力がなく、限りなく無心に近い状態で来ている場合には、この返答はお断りを意味しているように受け取れます。返済の期限が迫っているのに用意できず、一時的に借金を依頼している場合だとすると、貸し渋りをしている状態になります。戻ってこない可能性がある場合、私たちはリスク回避を真っ先に考えた

### 【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1 ~ 9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1 ~ 22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17 ~ 31:31)
  - a 知恵ある人の言葉 (22:17 ~ 24:34)
  - b ソロモンの言葉 (25:1 ~ 29:27)
  - c アゲルの言葉 (30:1 ~ 33)
  - d レムエルの言葉 (31:1 ~ 31)

行動をします。もし、その障壁を越えることができるとするなら、相手の立場になって物事を考えた時でしょう。ですから、前節と関連した内容でもあるのです。前節は自分の時間を削って行動できるか、この節については自分の財産を失ってでもそれを与えることができるか、です。これは究極的には主イエスの十字架の贖いに通じます。人が全世界を手に入れても、自分の命、自分の立場を失ったら、何の得になるのでしょうか(マタイ 16:26)。主は天からの祝福で報いてくださるのです。

## 聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

### 【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

士師記19章30節「今日まで、このようなことは、起こったことも目にしたことなかった。このことを心に留めて協議し、意見を述べなさい。」◆この事件は残虐そのものである。なぜこのような記事が聖書に出てくるのだろうか。疑問をもったり、理解できない人もいるだろう。だから、「このことをよく考えよ」と聖書は言うのだ。私たちは事件の結果だけに目を留めがちだが、なぜそれが起こったのかを徹底的に議論していない。残虐な事件の裏には必ず「何か」があるのだ。一番初めの所を正さなければ、ボタンの掛け違いは治らない。

### ●賛美 / 367 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

士師記第20章2節「イスラエルのすべての部族のおもだった者たちが、神の民の集いに参加した。」◆前章の事件を受けて、集まりを持つとしたが、ベニヤミン族だけ呼びかけに応ぜず、戦いが始まってしまふ。相手の犯した過ちには鋭く反応し、それをさばこうとする。だが、その過ちが自分にもあることを気づかなければ解決は生まれてこない。自分が赦されていることに対する感謝の中に、人を赦す心が生まれてくるのである。私たちに最も欠けているのは、自分の内にある罪を不問にしているということである。

### ●賛美 / 368 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

士師記第21章16節「『生き残った者に妻を与えるには何をすべきだろう。ベニヤミンからは女が絶えてしまった』と悔やみ、」◆士師記を読みながら、何と愚かで自己中心、放漫であるかと思ふ。最後の記事も理解できないような事件であり、その締めくくり、そしてこの書の最後の言葉もまた、「おのおのが自分の目に正しいと思うことを行っていた」で終わっている。神を信じなくても自分の力で生きられるという人がいるが、神への信仰とは、神に助けを求めるのではなく、神を中心に置く生き方である。神がない生き方が虚しいことを心に留めたい。

### ●賛美 / 369 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

ルツ記第1章20節「ナオミと呼ばずに、マラと呼んでください。全能者が私をひどく苦しめたのです。」◆飢饉のために外国に移住したエリメレク一家だったが、主人、そして二人の息子たちが次々に死ぬ。一人の嫁ルツだけをつれてナオミは元住んでいた場所に戻ってきた。ナオミは私は何と不幸なのかと言っている。しかし、ここから、神の素晴らしい救いを表していくのである。いや、その苦しみとと思っていたことが、実は苦しみではなかったことがわかるのである。神は私たちに幸いをもたらす。ただし、すべて自分の考えているようにことが運ぶわけではない。

●賛美／370 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

ルツ記第2章20節「主は、生きている者にも死んだ者にも、慈しみを惜しみませんでした。」◆ベツレヘムに帰ったものの、その日からの生活に困った二人は、考えて、落ち穂拾いに出かけることにした。貧しい者が憐れみをこう行為である。そこでたまたま出かけた畑が親戚筋のボアズの畑だった。そこで親切を受け、家に帰ったルツの報告を聞いて、ナオミは神の慈しみをほめた。私たちは現状についてしばしば絶望する。またまわりの状況や人の状態について失望する。しかしその時、慈しみくださる主がいることを忘れてはならない。

●賛美／371 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

ルツ記第3章1節「娘よ、私は、あなたが幸せになれるような安らぎの場を探さなければなりません。」◆ルツにとって毎日ボアズの畑で落ち穂を拾うことも楽しいものであったに違いない。だが所詮落ち穂拾いである。畑の収穫が終わればすべては終わりになる。そこでナオミはルツに大胆な行動を示唆した。相手の内に留まるのは、保護を求める意思表示とされていた行為である。言われたように、ルツはボアズのところに行った。私たちは神のところに「通う」信仰ではなく、神の恵みを求め、そこに「留まる」信仰を持ちたい。

●賛美／372 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

ルツ記第4章17節「近所の女たちは、『ナオミに男の子が生まれた』と言って、その子に名を付け、オベドと呼んだ。彼はダビデの父であるエッサイの父となった。」◆マタイ福音書第1章に系図が記されている。この系図の中には重要なメッセージがある。そして、その例の一つが「ボアズはルツによってオベドをもうけ、オベドはエッサイをもうけ、エッサイはダビデ王をもうけた」である。神がなされた大きなわざは、捨てられていたような、またさげすまれていた人々にももたらされる。私たちにそのみわざは起こされていくのである。

●賛美／373 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



# おやこでせいしよ

## ●きょうのせいしよ

【ルツ 1：1～22】

「ルツのしゅくふく」

(しへん 16：2)

ナオミについて ベツレヘム きた ルツでしたが、ナオミとふたりだけでは せいかつすることも たべることも できません。

ちょうど おおむぎとこむぎを しゅうかくするときだったので、ふたりは かんがえて、むぎをしゅうかくするときにおちる ほをひろいにいくことにしました。おちた ほは、まずしいひとがひろってもいいことになっていたのです。

ナオミは はたらくことができないので、ルツが いきました。そのいった はたけは ポアズというひとのはたけでした。ポアズはルツががいこくのモアブからやってきて、かみさまをしんじ、いっしょうけんめいにナオミのめんどろをみているときいていました。そのため、ルツがおおくのおちぼをひろえるようにしました。

ナオミは たくさんの ほを もってきた ルツをみてびっくりです。どこの はたけにいったのか と きくと、しんせきの ポアズの はたけだということがわかりました。かみさまは、ナオミとルツを たすけてくださるために そのように みちびいてくださったのです。

それだけではありません。ポアズは ナオミとルツの せわをするために ひつような「あがない」という てつづきを しました。ナオミとルツを ひきとってくれたのです。そしてポアズとルツは けっこんしました。すべては かみさまが そのごけいかくのなかで じっこうされたことでした。

ルツは オベドとなづけた こを うみました。このオベドは ダビデおう の おとうさんになるひとです。そして、その しそんから イエスさまが うまれることになります。

かみさまのしゅくふくに いちばんとおいとおもわれていた がいこくのひとが かみさまをしんじることによって、かみさまからの しゅくふくを うけたのです。

## ●かんがえてみよう

☆ルツは だれのはたけに おちぼを ひろいにいったのですか。(ルツ 2:3)

☆ポアズは ルツに どんな しんせつを してくれましたか。(ルツ 2:14)

☆ポアズと ルツは そのあと、どのように なりましたか。(ルツ 4:13)



# なみむ聖書

## もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりますが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

おきうちばにおいる

る						む	ば	う
			ば					う
			ぎ			に	お	
				う				
ば		う	に		り	ぎ	む	る
お	に			る	ば	う	り	ち
ぎ	む	お	る	ば				
		ち		に	む	お	ば	ぎ
り	ば	に		ぎ		る	ち	

## ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① きんしののもの
- ② しょついに
- ③ はもかすら
- ④ おどしたち

## まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





# 牧師の 聖書 ななめ読み

「津波」

観光地に出かける時には天気が気になります。台風ならばその進路がわかるので、事前に予定を変更するなどできますが、それでも予約をしていた席をキャンセルするかしないか、かけにも等しい決断を迫られる場合もあります。

さらに、行く前ならばいいですが、観光地から戻る時にそんなトラブルがあったらもう大変です。

先日、津波警報が出た時には、JRは完全ストップしてしまいました。報道されていたニュースの中

にもありましたが、夏期学校で伊豆に行っていた学校の生徒たちが帰る日、朝から駅で足止めになってしまい、警報解除が長引いたこともあって、帰れなくなってしまうたらしいですし、海水浴に行ったら、海水浴場が閉鎖になってしまい、バーベキューの食材も持って帰らなければならなくなったなどというものもありました。外国人観光客などは何が何だか分からず、悲惨なことになっているのではないかとも思います。

警報などは安全のために仕方ないことですが、出かける際には何が起こっても良いくらいのトラブル対処法を前もって考えておくべきですね。

もうすぐ夏休みが終わります。みんな楽しい思い出を作れると良いのですが。

## 聖書ふれあい街歩き

### ●ニムリム

イザヤ書 15 章には、これでもかというほどモアブの地名が登場してきます。それだけモアブ全土に渡って神の裁きが徹底的にもたらされるということでしょう。ただ、その町の一つ一つは今では同定することが難しいものばかりで、推測するしかありません。例えばホロナイムについては、ヘブライ語で「二つの穴」との意味があり、逃れ道との関連が指摘されています。すなわち、嘆きながら坂を上り、逃れられると思ったホロナイムでその道が閉ざされていることを知って「破滅の叫びを上げ」ることとなったのではないかと想像します。

ニムリムはヘブライ語で「澄んだ水」ですが、その水が干上がっていて、逃亡してたどり着いたとしても、渴ききった喉を潤すことができないほど干上がっていたわけです。おそらくは彼側の近くであったと思われ、オアシス的な場所だったのでしょうが、緑がなくなり、町が消滅すると宣言されてしまいました。次に出てくるデモンは、「デボンという町だったが、デモン(血)に言い換えて、その結末を強く表した」との節が有力です。いずれにしても、神に逆らったモアブがたどった破滅の道を町が現していることになります。

## ななめ聖書 先週のこたえ

あ	る	か	つ	も	き	た	ぶ	ら
き	ら	つ	ぶ	た	か	る	も	あ
も	ぶ	た	ら	る	あ	か	き	つ
る	つ	も	き	ら	た	ぶ	あ	か
た	あ	ら	も	か	ぶ	つ	る	き
ぶ	か	き	あ	つ	る	ら	た	も
か	き	る	た	あ	ら	も	つ	ぶ
ら	も	ぶ	る	き	つ	あ	か	た
つ	た	あ	か	ぶ	も	き	ら	る

- ①わたしのかみです
- ②おおむぎがり
- ③もあぶのの
- ④べつれへむ



## エフェソでのパウロ

このことがエフェソに住むユダヤ人やギリシア人すべてに知れ渡ったので、人々は皆恐れを抱き、主イエスの名を崇めるようになった。

信仰に入った大勢の人が来て、自分たちの悪行を告白し、打ち明けた。

また、魔術を行っていた多くの者も、その書物を持って来て、皆の前で焼き捨てた。その値段を合計してみると、銀貨五万枚分にもなった。

このようにして、主の言葉はますます勢いよく広まり、力を増していった。

(使徒言行録19:17～20)



魔術の巻物を処分

## 【取扱注意】

パウロを通して驚くべき奇跡を目の当たりにした祈禱師たちは、自分も「同系列の宗教」であることから、安易に「相乗り」をしようと、主イエスの名を唱えました。ところが、まったくきかないどころか、逆に「おまえは誰だ!」と襲いかかられてしまいます。もう50年前になりますが、「エクソシスト」という映画が話題を呼びました。悪魔に取りつかれた少女を助けようと、追いつめるための戦いをするのですが、神父の心身の動揺により、神父もまた命を落としてしまうというあらすじです。私は、この映画を知るまで、「エクソシスト(悪魔払いの祈禱師)」の存在を知りませんでした。

もちろん、オカルト的な部分が多く、誇張されていることなのですが、そのように思い込んでいる人は、恐怖から解放されたいと願うはずですよ。

私がまだ修養生だった時代、つまり牧師見習いの時代に、教会で留守番をしていると、4人の小学生の女の子が深刻そうな顔をして訪ねてきました。「こっくりさんをやっていたら、『おまえたちは殺される』と言われ、恐くなって教会に来た」というのです。私は一瞬緊張しましたが、覚悟を決めて「エクソシスト」として主の御名によって「サタンよ退け!」と祈りました。そして、「もう大丈夫だよ」と言うと、安心した様子で帰って行きました。パウロは、エフェソの信徒への手紙を書いている時に、このような出来事を思い浮かべていたのが「悪魔の策略に対して立ち向かうことができるように、神の武具を身につけなさい」と勧めています。主を信じている私たちは、常に信仰の戦いを強いられているわけで、常

に、「主イエスの名」を叫びつつ、勝利していかなければならないのです。

自分の利益のために「主イエスの名」を利用しようとするならば自滅します。あくまでも、主の救いの力を自分自ら経験し、主の栄光が現されるようにと行動する時、主の御名による戦いは勝利へと導かれていきます。

この出来事で、「主イエスの御名」に力があること、そして、それは、「素人」が取り扱うことができない、神聖な御名であることが、エフェソの町中に知れ渡りました。もともとアルテミス信仰のお膝元であるエフェソは、信仰心が篤く、人々は「真の救い」であることを認識し、「主イエスの名を崇めるように」なり、「主の言葉はますます勢いよく広まり、力を増していった」のでした。

## 【銀貨5万枚分】

人々が真の信仰に目覚めた証拠が、魔術の本を焼き捨てたという行為です。

断っておきますが、信仰の対象だったから焼き捨てたのであり、「資料」であるならば対象とはなりません。例えば私は何冊もの仏経典や占い本を持っていますが、資料ですので保存しています。神棚や仏壇、お札などがあっても、それは家族全員の同意がなければ処分してはいけません。強引な処分は返って証しになりません。

信仰の対象となっていたものを捨て、主イエスを信じるようになった人たちの物品は銀貨5万枚、当時の一日の労働対価が銀貨1枚なので、1万円として5億円になります。エフェソではトップニュースで伝えられ、以降、何年も語り草になっていたはずですよ。

## キリスト教まるわかり Q&A

### ◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

### ◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

### ◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されておられ、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

### ◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

### ◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

### ◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

### ◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

## 2025年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過すために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日に加え、守っています。

### \*\*\*顕現節(1/6～#3/4)\*\*\*

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#3/2)として守ります。

### \*\*\*四旬節(#3/5～#4/12)\*\*\*

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#3/5)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#4/13～4/19)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#4/13)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/17)、十字架にかかれた受難日(#4/18)と過ごしていきます。

### \*\*\*復活節(#4/20～#6/7)\*\*\*

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/20)から始まります。春分の日後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/29)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日#6/1)となります。

### \*\*\*聖霊降臨節(#6/8～#11/29)\*\*\*

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#6/8)から始

まり、三位一体主日(#6/15)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

### \*\*\*待降節(#11/30～12/24)\*\*\*

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/21)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

### \*\*\*降誕節(12/25～1/5)\*\*\*

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

### 【記念日】

母の日(5/11・5月第二)  
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)  
花の日(子どもの日・6/8・6月第二)  
父の日(6/15・6月第三)  
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)  
宗教改革記念日(10/31・1517年)  
収穫感謝日(11/23・11月第四)

### 【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・水)  
成人祝福礼拝(#1/14・1月第二)  
聖書愛読週間(#3/23～29)  
みふみの日(3月23日)  
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/27)  
最後の晩餐集会(#4月17日夕)  
召天者記念合同礼拝(#6/1・6月第二\*今年は第一)  
弾圧記念礼拝(#6月22日・26日前後の主日)  
石出忠師記念礼拝(#7月6日・7月第一)  
敬老祝福礼拝(#9/14・9月第三)  
子ども祝福礼拝(#11/2・11月第一)  
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・水)

## 教会紹介

### ●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

### ●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

#### 【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人の絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙2:5:17など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙2:19～20など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記15:26など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙1:15:51など)

## 教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

## MEMO

## 単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

